

## 体操競技の普及について

体操専門部 湯川 実(県立春日部東高等学校)

体操競技は、徒手または器械を用いた体操(器械体操)の演技について技の難易度・美しさ・安定性などを基準に採点を行い、その得点を競うスポーツである。

男子は床運動・鞍馬・吊り輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目、女子は跳馬・段違い平行棒・平均台・床運動の4種目が行われている。

採点方法は、10点満点制が長年にわたり親しまれてきたが、高難度化にともない2006年に上限が廃止された。技の名前に、それを最初に成功させた選手の名前が付くことも特徴である。

リオオリンピックでは、男子が団体総合優勝、内村航平選手が個人総合優勝や白井健三選手種目別跳馬で3位など、女子は団体総合で4位、寺本明日香選手が8位に入賞するなどの成績をおさめた。埼玉県出身者としては、男子では加藤凌平選手(個人総合11位)・山室光史選手、女子の宮川沙江選手が出場していた。また、内村航平選手は、兼ねてより「体操をもっと世の中に普及させたい」との考えを持っており、リオオリンピック終了後にプロ転向をして普及活動にも力を入れている。

埼玉県では高等学校に男子22校、女子21校が加盟登録している。ちなみに埼玉県体操協会にジュニア体操競技クラブは21クラブが加盟登録している。昨年度、全国高等学校総合体育大会の体操競技女子で団体優勝した県立戸田翔陽高等学校、男子団体で5位の埼玉栄高等学校をはじめ、全日本体操競技選手権大会に毎年選手を出場させている戸田市スポーツセンターやリオオリンピック体操競技女子団体に出場した宮川紗江選手が所属するセインツ体操クラブ、オリンピック選手を多く輩出しているコナミスポーツクラブも埼玉県に拠点を置いている。こうしたこともあり、埼玉県の体操競技人口は、全国的に見ても多い方だと言える。

体操競技は大変危険を伴うスポーツでもあり、競技中・練習中の事故・死亡または頸椎・脊椎の損傷(脊髄損傷)による重大な後遺症を負う事例も少なくない。このため年齢・性別による禁止技が設けられている。整った環境・補助の下で適切な指導を受けることが重要である。